

国立研究開発法人産業技術総合研究所 行動規範

私たちは、社会のために、使命と責任を認識し、産総研ビジョンに至るまでの歩むべき行路として行動規範を宣言します。

1. 「私たちの使命」を果たすために

- 私たちは、使命感を持って地球環境と人類社会が調和した健全な未来をデザインし、人類の多様な幸せの実現に挑みます。
- 私たちは、説明責任を果たして初めて使命を全うできることを自覚し、法の精神を尊重し、関係法令の順守、透明性の確保、利益相反マネジメント、適正な研究費等の使用に取り組みます。業務での認識なき過失を防ぐため、高い倫理観を保ち続けます。
- 私たちは、社会実装の推進に伴う責任を認識し、国際情勢の複雑化、社会経済構造の変化等の把握に努め、技術情報の流出を防止するとともに、所内外の全ての知的財産を守ります。

2. 「私たちの価値観」を守るために

- 私たちは、全ての人々が公正・公平な研究活動を遂行し、創造的に取り組むことで、強い個の発揮と協働を実現します。また、規程等に定める注意義務を全て果たし、研究不正行為を行わず、加担しないため、次に定める指針を実践します。
 - ▶ 私たちは、研究成果等のねつ造、改ざん、盗用を決してせず、研究の真正性確保のために研究の記録と管理を適切に行います。
 - ▶ 私たちは、不適切なオーサーシップ、二重投稿、分割発表、不適切な引用等の研究倫理から大きく逸脱する行為を決してせず、研究のオリジナリティを尊重します。
- 私たちは、環境や安全への配慮を怠らず、生命倫理を尊重します。

3. 「私たちの文化」を築くために

- 私たちは、多様性と闊達な対話を尊重し、異なる考え方を受容します。
- 私たちは、良き伝統に根差しつつも、失敗を恐れて単に前例を踏襲するのではなく、共に挑戦します。また、この姿勢を称え、全ての人々が挑戦による成長を実感・促進できる職場環境の構築と育てる文化の醸成を目指します。
- 私たちは、一人ひとりが志をもって自主的・自律的に行動します。

私たちは、他者を指導する立場についた際は、次に定める指針を実践します。

◇ 自ら行動規範を理解し、実践して伝え、行動規範を理解・実践する手助けができる環境整備に尽力します。

◇ 積極的に職場内でコミュニケーションを重ねます。相談しやすい環境整備に取り組み、ハラスメントも率先して防止します。